

I 組織の使命

病院局では管理部のもと、市立函館病院、市立函館恵山病院、市立函館南茅部病院が病院事業を、市立函館病院高等看護学院が看護師養成事業を運営します。

病院局のミッション（使命）は、
「地域住民の方々に最良の医療を提供する」ことです。

このため、各施設の経営健全化に努めるとともに、市立函館病院は、高度急性期・急性期医療を担い、道南圏の中核医療機関として救命救急センターをはじめ様々な役割を果たし、市立函館恵山病院と市立函館南茅部病院は、急性期や慢性期医療を担い、それぞれの地域において初期医療や救急医療などを提供する施設としての役割を果たします。

また、市立函館病院高等看護学院は、医療者としての素養を育み、専門的知識や技術を習得するとともに、温かい心を持つ看護師を社会に送り出します。

II 組織の基本方針

○ 管理部

- ・ 病院局長のもと、3病院事業と1看護師養成事業の健全な運営に努めます。

○ 市立函館病院

- ・ 道南圏域における救急医療、災害医療を支えます。
- ・ 地域の医療機関との連携を深め、地域医療の充実に努めます。
- ・ 高度・先進医療を担い、患者さん中心のチーム医療を提供します。
- ・ 地域医療を支える優れた医療人を育成します。
- ・ 公共の役割を担いつつ、健全な経営に努めます。

○ 市立函館恵山病院・市立函館南茅部病院

- ・ 安全な医療を目指します。
- ・ 高度医療機関と連携して地域医療の確保に努めます。
- ・ 保健・福祉と協働して地域住民の健康づくりに貢献します。

○ 市立函館病院高等看護学院

- ・ 看護師として必要な専門的知識や技術を習得させます。
- ・ 医療チームの一員を担えるよう調和の取れた人間形成を目指します。

Ⅲ 年度評価 総評

病院局においては、令和4年度(2022年度)も「地域住民の生活や地域の発展に不可欠なサービスの安定的な提供」という公営企業本来の役割を果たすため、組織の基本方針に沿って事業の実施に努めてまいりました。

所管する病院および高等看護学院では、それぞれ個別固有の課題を抱えていますが、市立函館病院における新型コロナウイルス感染症への対応のほか、市立函館恵山病院および市立函館南茅部病院でも地域医療の確保という役割を果たすことができたことや、3つの病院ともに国の補助金を活用しつつ、コロナ禍にあっても一定の資金収支を確保したことなどから、年度目標を達成したものと考えております。

何れの施設も長い歴史の中で市民生活を支え続けており、これからもそのサービスを将来にわたって安定的に提供していくために、引き続き医療従事者の働きやすい環境の整備と、地域住民の安心安全な医療提供体制の堅持に積極的に取り組んでまいります。

区 分	担当課	評価	評価の説明
1 新型コロナウイルス感染症への対応			
① 市立函館病院は、道南圏の中等症や重症の患者を中心に受け入れる役割を担うとともに、感染症病棟等以外にも、ICUや救命救急病棟の重症者を受け入れる病床を確保し、地域住民の安心安全な医療提供体制を堅持します。			
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に対応するため、院内感染対策に万全を期します。 	庶務課ほか	B	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度(2022年度)は複数回のクラスターが発生し、一時的に新規入院を制限しましたが、各病棟でのゾーニングなどにより、診療への影響が最小限となるよう努めました。
<ul style="list-style-type: none"> 医師会をはじめ、保健所や地域の医療機関との連携をより一層深め、地域でクラスターが発生した場合、特定の病院に患者が集中することで医療崩壊を起こさないよう、重症患者は設備の整っている市立函館病院で受け入れ、軽症患者は他の病院や宿泊療養施設で受け入れるなど役割分担して対応します。 	庶務課ほか	A	<ul style="list-style-type: none"> 函館病院では、令和4年度(2022年度)に562人の入院患者を受け入れました。 保健所との連携により行政検査(PCR検査)の検体採取をしたほか、北海道とも連携し、宿泊療養施設における診療を実施しました。
<ul style="list-style-type: none"> 地域でクラスターの発生等により感染者が急増した場合は、一般病棟のスタッフを感染症病棟等に配置して感染患者の対応に努めます。 	庶務課ほか	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域で感染者が急増した際には、迅速に各病棟の病床数およびスタッフ配置を調整し、重症患者を中心に感染患者を受け入れました。
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症への対応と同時に、3次救急、がん診療など市立函館病院でしか治療できない疾病についても継続して対応できる体制を維持・確保してまいります。 	庶務課ほか	A	<ul style="list-style-type: none"> クラスターによる一時的な入院制限をしながらも、当院にしかできない3次救急やがん診療などに継続して対応しました。
2 患者サービスの向上と職員が働きやすい環境づくり			
① 患者サービスの向上を図るほか、老朽化した施設設備の更新に係る計画を策定し、職員が働きやすい環境づくりを目指します。			
<ul style="list-style-type: none"> 集中治療部門の体制強化を図ります。 	医事担当課ほか	B	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度(2023年度)の12床運用開始に向け、スタッフを1人増員し、スタッフへの教育を実施しました。
<ul style="list-style-type: none"> 重症患者の診療体制充実のため多職種による回診やチーム医療について検討します。 	医事担当課ほか	A	<ul style="list-style-type: none"> 入院患者の病態変化の兆候を捉えて早期に対応しコードブルーを減少させることを目的にRRS(院内迅速対応システム)を導入しました。
<ul style="list-style-type: none"> 地域の医療機関との連携強化に努めるとともに、外来の混雑緩和に向けて検討します。 	地域連携課ほか	B	<ul style="list-style-type: none"> 連携を強化するため関係する地域の医療機関を訪問したほか、診療表示システムの令和5年度(2023年度)導入に向けた準備を進めました。
<ul style="list-style-type: none"> 医師と看護師の働き方改革を推進するほか、現場力の向上と働きやすい環境づくりについて検討を進めます。 	庶務課ほか	A	<ul style="list-style-type: none"> 看護師長の管理職化により現場力の向上を図り働きやすい環境づくりを行ったほか、医療クラークの業務の見直しを進めました。
<ul style="list-style-type: none"> 安心安全で標準化された医療の提供と効率が良く働きやすい職場づくりを目的に、クリニカルパスの適用率を向上させます。(令和3年度実績50.1%) 	医事担当課ほか	B	<ul style="list-style-type: none"> 新たに36個のクリニカルパスを作成して安心安全で標準化された医療の提供と効率が良く働きやすい職場づくりを実施した結果、令和4年度(2022年度)のクリニカルパスの適用率が54.5%となりました。
<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した施設設備の計画的な更新を目指して、更新に係る計画の策定に着手します。 	企画担当課ほか	B	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した施設設備の更新計画の素案を作成しました。

区 分	担当課	評価	評価の説明
<ul style="list-style-type: none"> ・押印見直しに関する検討を行うなど, 院内事務作業のIT化を促進します。 	庶務課ほか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度(2023年度)からの出勤簿および休暇承認簿廃止に向け, 勤怠管理システムを構築し各所属において試行しました。
3 組織の健全化			
① 各病院がそれぞれに求められる医療機能を果たしながら, そのサービスを将来にわたり継続して提供していくために単年度資金収支の改善に努めます。			
<ul style="list-style-type: none"> ・市立函館病院では, 引き続き単年度資金収支の均衡を目指します。 	経理課ほか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染によるクラスターにより, コロナ関連補助金を除いた収支は赤字となりましたが, 新型コロナウイルス感染症の病床確保等に努めた結果, 全体での収支はコロナ禍にあっても黒字化を実現することができました。
<ul style="list-style-type: none"> ・市立函館恵山病院, 市立函館南茅部病院では, 一般会計からの繰出金の縮減に努めます。 	経理課ほか	C	<ul style="list-style-type: none"> ・市立函館恵山病院では, 新型コロナウイルス感染症の病床を確保したことによる補助金の増等から, 一般会計からの繰出金が前年度を下回ることとなりましたが, 市立函館南茅部病院では退職手当の増等から一般会計からの繰出金が前年度を上回っています。